



2021年4月21日

各位

会社名 神栄株式会社
 代表者名 代表取締役社長 赤澤 秀朗
 (コード番号3004 東証1部)
 問合せ先 執行役員 経理・財務部長 長尾 謙一
 (TEL. 078-392-6901)

通期連結業績予想の修正並びに個別決算における特別損失の計上及び
 通期個別業績予想の公表に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月29日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、個別決算において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。なお、通期個別業績につきましては、前期実績との対比において適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、予想値を公表するものです。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,000	650	500	350	91.64
今回修正予想 (B)	37,265	778	676	500	131.01
増減額 (B-A)	265	128	176	150	
増減率 (%)	0.7	19.8	35.3	43.0	
(ご参考)					
前期実績 (2020年3月期)	41,164	359	272	△677	△178.96

(2) 修正の理由

売上高については、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、食品関連において冷凍食品分野の販売量の落ち込み幅を抑えられたことに加え、電子関連において空気清浄機向けホコリセンサの受注が計画より好調であったことなどから、前回予想を上回る見込みがあります。

利益面についても、上記の増収による売上総利益の増加に加え、電子関連において生産性の向上に伴う原価低減により利益率が改善したことや食品関連において在庫圧縮などによりさらに販売費が減少したほか、第4四半期において為替相場が円安となったことにより輸入決済に対応するための先物為替予約に係る為替差益を計上したことなどで、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みであります。

2. 個別決算における特別損失の計上について

当社の一部連結子会社の財政状態等を勘案し、2021年3月期の個別決算において、関係会社貸倒引当金繰入額211百万円を特別損失に計上いたします。

なお、上記金額は連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 通期個別業績予想について

(1) 2021年3月期通期個別業績予想 (2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	33,100	333	615	△666	△175.95
今回発表予想 (B)	31,692	364	574	249	65.21
増減額 (B-A)	△1,408	30	△40	915	
増減率 (%)	△4.3	9.2	△6.6	—	

(2) 前期実績との差異の理由

上記2のとおり特別損失の計上はありますが、前期実績と比べると特別損失が大幅に減少することから、当期純利益が大幅に改善する見込みであります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上